

# 第 1 章スケジュール管理をしよう!!

いまは、連休があけたばかりです。皆さん、連休はいかがお過ごしになったでしょうか? 私は体調をくずして家でゴロゴロしていましたが、家族サービスに奔走された方も多いことと思います。

さて、家族サービスを行う上で、スケジュール管理は大切です。遊園地に行く約束をしていた日にゴルフや BUG 活動を入れてしまうと、冷たい視線が痛くはないでしょうか? 家族の誕生日や記念日は全て覚えているでしょうか? ただでさえ、家庭不和の原因となるコンピュータという趣味を持っている以上は、このあたりの家族サービスはきっちり押えて点数稼ぎをしましょう。

というわけで、今回はスケジュール管理ソフトウェアについて御紹介したいと思います。

## スケジュールを管理する

古くから単にカレンダーを表示するコマンドとしては、`cal` があります。現在では、locale 対応しているので、日本語で表示もしてくれます。が、これだけではスケジュール管理はできません。ちなみに `deskutils/gcal` にも、`gcal`(<http://www.gnu.org/software/gcal/gcal.html>) というカレンダー表示コマンドが存在します。

スケジュール管理ソフトウェアとして利用可能なものを表 1-1 に示します。Palm との係に関しでは、FreeBSD PRESS No.4 の記事に詳しいので、ここでは述べません。

表 1-1. 主なスケジュール管理ソフトウェア

名前	ports の場所	インターフェース	Palm との係	備考
gemcal <sup>a</sup>	<code>deskutils/gemcal</code>	GUI		mhc 用の GUI フロントエンドインターフェース
xcalendar	<code>deskutils/xcalendar</code>	GUI	×	
jpilot	<code>japanese/jpilot</code>	GUI		本来は Palm との sync 用。
ical	<code>japanese/ical</code>	GUI	<sup>b</sup>	
plan <sup>c</sup>	<code>japanese/plan</code>	GUI		
gnomepim	<code>deskutils/gnomepim</code>	GUI	×	スケジューラコマンドは <b>gnomecal</b>
Moneydance <sup>a</sup>	<code>deskutils/moneydance</code>	GUI	×	本来は finance 関係のアプリケーション

注意: a. <http://www.quickhack.net/mhc/> b. [palm.com/sync](http://palm.com/sync) が必要。 c. <http://www.IN-Berlin.DE/User/bitrot/plan.1>

## [Case1]GUI で簡単操作

担当者の基本的路線として、家族で使う FreeBSD というのがありますので、とりあえずは簡単操作の GUI から始めましょう。GUI ソフトウェアはいろいろあります。この中でもこれまでに本

誌で紹介されていないものを中心に説明し、あとは軽く説明します。

## xcalendar

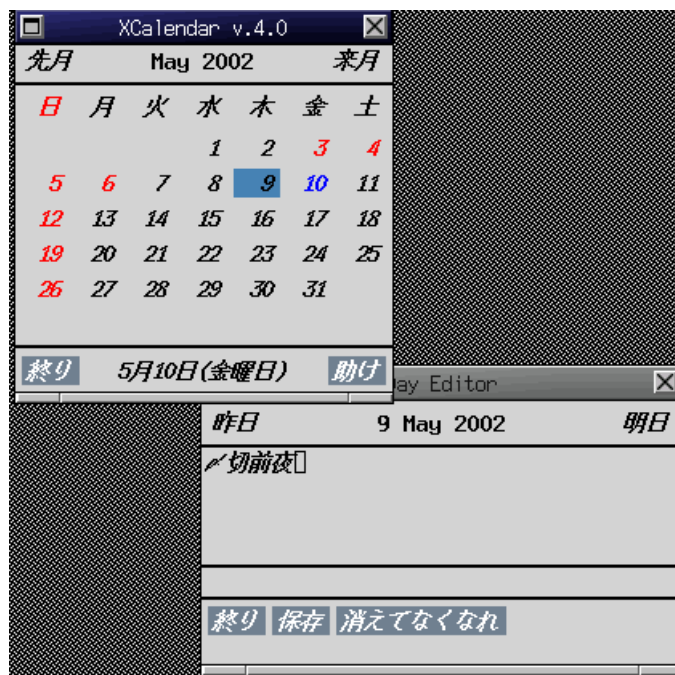
deskutils/xcalendar は、シンプルなスケジュール管理ソフトウェアです。かなり古くからあるソフトウェアで、日本語化されたスケジューラとしては最初の部類に属するものです。基本的に X さえ入っていれば動作しますので、最近のソフトウェアが重くなったとお嘆きのあなたには適当かと思います。

表示もコンパクト (図 1-1) です。狭い画面のノートパソコンなどでも邪魔になりません。

インストールした直後の状態では、漢字の入力ができないようになっています。例えば、**kinput2** を利用する場合には `~/.Xdefaults` などの設定ファイルに以下のように記述し、**xrdb -merge** `~/.Xdefaults` を実行して設定を有効にしてください。

```
XCalendar*inputMethod: kinput2
XCalendar*preeditType: OverTheSpot
```

図 1-1. xcalendar の画面



## gemcal(MHC との連係)

deskutils/gemcal は、後述の MHC との連係を主としたソフトウェアです。デフォルトの表示はコンパクトなので、狭い画面のノートでも大丈夫です (図 1-2 中のカレンダー部分)。ウィンドウを拡大することで、予定も同時に表示されますので、広い画面では予定の一覧も可能です。

操作は直感的なので、特に説明する必要も無いと思います。予定がある所は強調表示され、クリックすることで予定が表示されます。予定は「鉛筆と時計」のアイコンをクリックすることで、編集可能です。

gemcal はやはり、MHC との関係でその真価を発揮します。MHC は、後の解説を御覧ください。

図 1-2. gemcal の画面



## その他の注目株

その他にもスケジュール管理のためのソフトウェアとしては、以下のようなものがあります。これらは、FreeBSD PRESS No.4 や No.6 でも紹介されています。

- japanese/jpilot: 本来は Palm との関係用ソフトウェア。Palm の機能のアドレスや ToDo の管理も可能。
- japanese/ical: ダブルブッキングしている予定が見やすい。予定の印刷は月単位などが利用できるため、壁に張るためには便利。
- japanese/plan: ネットワーク経由でのスケジュールの共有機能が目玉。予定印刷はこれも月単位などが指定でき、見やすい。

- deskutils/moneydance: 前回 (No.6) 紹介した家計簿ソフトです。予定の管理もできますので、これを使ってもいいでしょう。

## [Case2] 予定がメールで降ってくる

最近 IT 革命とやらで、やたらと電子メールで連絡をする風潮があるようです。会議の予定などは電子メール経由で流されることも多いため、電子メールベースのスケジュール管理ソフトウェアへの需要は大きいでしょう。

MHC(<http://www.quickhack.net/mhc/>) は、このような環境を仮定したスケジュール管理ソフトウェアです。基本的に、MH 形式で予定メールをそのまま保存し、オプションルヘッダに追加情報を付加することで、スケジュールの管理を容易にしています。

基本的に対応している MUA は Emacs ベースの Wanderlust と Mew, Gnus になっています。

deskutils/mhc-\* から自分の Emacs にあったものを ports でインストールすると、ドキュメントは `/usr/local/share/doc/mhc` にインストールされます。ここの `00usage.jis` を読んで設定します。基本的には `~/.emacs` に以下の設定を追加します。利用する MUA の設定だけで十分です。

```
;; MHC
;;; for Wanderlust
(autoload 'mhc-wl-setup "mhc-wl")
(add-hook 'wl-init-hook 'mhc-wl-setup)
;;; for Mew
(autoload 'mhc-mew-setup "mhc-mew")
(add-hook 'mew-init-hook 'mhc-mew-setup)
;;; for Gnus
(autoload 'mhc-gnus-setup "mhc-gnus")
(add-hook 'gnus-startup-hook 'mhc-gnus-setup)
;;; General Setup
(setq mhc-base-folder "+schedule")
(setq mhc-mail-path (expand-file-name "/home/oZ/Mail"))
```

ここでは、スケジュールを保存するディレクトリを `/home/oZ/Mail/schedule` と仮定しています。

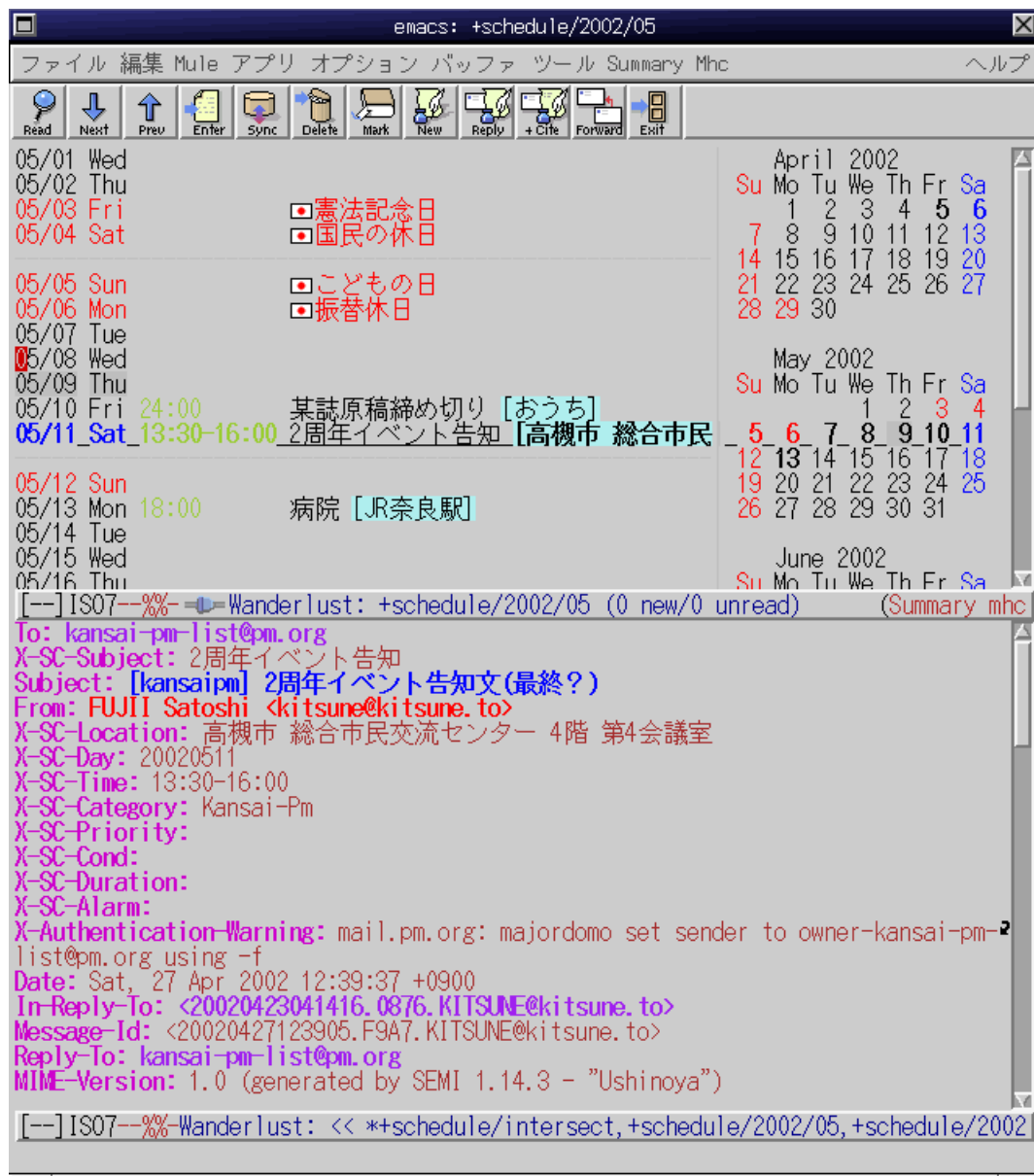
休日を表示したい場合には、このディレクトリの `DOT.schedule.sample.jp` を `~/.schedule` としてコピーしておきましょう。

スケジュールを登録するためには、アナウンスメールなどで `C-c .|` と入力します。時間や日時などの候補はメール本文から推測して、次々に項目を問い合わせてくれますので、補完されていない部分を入力していきます。保管が適切でない場合は、`C-p` や `C-n` を使って、前後の候補を選択することも可能です。最終的に `C-c C-c` でスケジュールの登録が完了します。

メールで与えられていない予定を登録するためには、予定を登録する日時にポインタを合わせたあとで、`C-.e` を入力します。

スケジュールの閲覧には `C-c ..` を使います (図 1-3)。

図 1-3. スケジュールの一覧



他にもさまざまな便利な機能がありますが、ここでは紹介しきれません。表 1-2 に機能一覧をまとめておきますので、参考にしてください。

表 1-2. MHC の主な機能

機能	デフォルトキーバインド	備考
現在の月の予定を表示	C..	
次の月の予定を表示	C.. n	
前の月の予定を表示	C.. p	

機能	デフォルトキーバインド	備考
現在の月を rescan	C-, s	
メールからの予定の登録	C-,	
直接の予定の登録	C-, e	スケジュール表示画面でポイントを該当日時に合わせた上で作業が必要
予定の編集	C-, m	スケジュール表示画面でポイントを該当予定に合わせた上で作業が必要

Web でのスケジュール提供のためのインターフェースとして

web-mhc(<http://mhc.haun.org/web-mhc/>) というものも 存在します。スケジュールディレクトリのアクセス権限の問題から、動作には suExec もしくは cgiwrap([www/cgiwrap](http://www.cgiwrap.com/)) などを利用する必要があります。ここでは、cgiwrap を利用する方法について簡単に説明します。

まず、cgiwrap を ports からインストールします。web-mhc のスクリプト類は `~/public_html/cgi-bin/` にインストールしておきます。このディレクトリで CGI が実行できるように `.htaccess` や システムの設定をしておきます。例えば、`.htaccess` を使う場合以下のようになります<sup>1</sup>。

```
AddType application/x-httpd-cgi .cgi
Options execCGI
```

スケジュールにアクセスする場合には、URL を

`http://www.example.com/cgi-bin/cgiwrap/oZ/main.cgi` のように指定します。

1. システム設定で `.htaccess` が使えるように、`AllowOverride` が設定されている必要があります。

図 1-4. web-mhc の表示

Monthly Index of mhc CGI/IF - Mozilla [Build ID: 0000000000]

Back Forward Reload Stop <http://localhost/cgi-bin/cgiwrap/oz/main.cgi>

[2002/04] << [2002/05] >> [2002/06]

2002/04      2002/05      2002/06

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4							1
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
28	29	30					26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
														30						

2002/05/11

Time	schedule
13:30-16:00	2周年イベント告知

X-SC-Subject: 2周年イベント告知  
X-SC-Location: 高槻市 総合市民交流センター 4階 第4  
X-SC-Day: 20020511  
X-SC-Time: 13:30-16:00  
X-SC-Category: Kansai-pm  
X-SC-Cond:  
X-SC-Duration:  
X-SC-Alarm:  
X-SC-Record-Id: <200205090041300027.mutoh@mutoh.dy  
X-Authentication-Warning: mail.pm.org: majordomo s  
Date: Sat, 27 Apr 2002 12:39:37 +0900  
From: FUJII Satoshi <kitsune@kitsune.to>  
To: kansai-pm-list@pm.org  
Subject: [kansai-pm] 2周年イベント告知文(最終?)  
In-Reply-To: <20020423041416.0876.KITSUNE@kitsune.  
References: <20020423034345.01f2c702.iwaim@cc.mbn.  
Message-Id: <20020427123905.F9A7.KITSUNE@kitsune.t  
Reply-To: kansai-pm-list@pm.org  
MIME-Version: 1.0 (generated by SEMI 1.14.3 - "Ush  
Content-Type: text/plain; charset=ISO-2022-JP

毎度どうもこんにちは。藤井です。

イベント告知文なのですが、演目も決まったことすし  
とにして、各方面に投げましょう。

Document: Done (0.73 secs)

### [Case3]Web ブラウザでグループウェア

PHPGroupWare(<http://phpgroupware.org/>) は、Web ブラウザを利用したグループウェア環境です。スケジュールだけではなく、アドレス帳や電子メール、電子ノートなどのさまざまなグループウ



エアが提供されています。日本語化は IT はあと (<http://www.itheart.com/>) が行っており、バージョン毎に提供されています。ports のバージョン (japanese/phpgroupware) は 0.9.12 です。

インストール後の設定の詳細は、IT はあとのページを参照ください。先に MySQL(databases/mysql323-server<sup>2</sup>) や PostgreSQL のデータベースの設定を行う必要があることに注意してください。また、標準では `${PREFIX}/www/data.default` にインストールされますので、既に新たに `${PREFIX}/www/data` などを作成している場合には注意してください。以降の説明では、`${PREFIX}/www/data/phpgroupware/` を `${PHPGROUPWARE}` として参照します。

初期設定は <http://localhost/phpgroupware/setup/> から行います (localhost 起動時の場合)。Web ベースの設定のためには、この前にディレクトリモードを変更するか、オーナーを Apache の動作権限を持ったユーザに変更して、設定ファイル `header.inc.php` が書き込めるようにする必要があります。初期設定時点で、ネットワーク的に分離されていない場合恐いので、download ボタンや view ボタンを使って設定を入手し、`${PHPGROUPWARE}` に `header.inc.php` というファイル名で設定を置いた方が無難でしょう。

次にもう一度 <http://localhost/phpgroupware/setup/> にブラウザでつなぎ、Setup/Config Admin Login から先程設定したパスワードでログインします。最初の項目である Step 1 - database management で Create ボタンを押すことで、データベース項目が作成されます。この時、エラーがたくさん出てきますが、Re-Check My Installation ボタンを押します。ここで、Step1 は相変わらず未設定になりますが、構わず Step 2 - Configuration に進みます。必要な項目を設定したあとで、管理者とデモアカウント 3 つを作るために下のリンクをクリックします。ここで、管理者のアカウントとパスワードなどを設定します。デモアカウントは管理者でログインした後で削除や更新が可能です。Step 3 - language management で Japanese を選択すれば良いでしょう。

<http://localhost/phpgroupware/> にアクセスすると ユーザ名とパスワードを入れてログインできるようになります。エラーが大量に表示されますので、

```
> mkdir -p ${PHPGROUPWARE}/home/templates/default/images
```

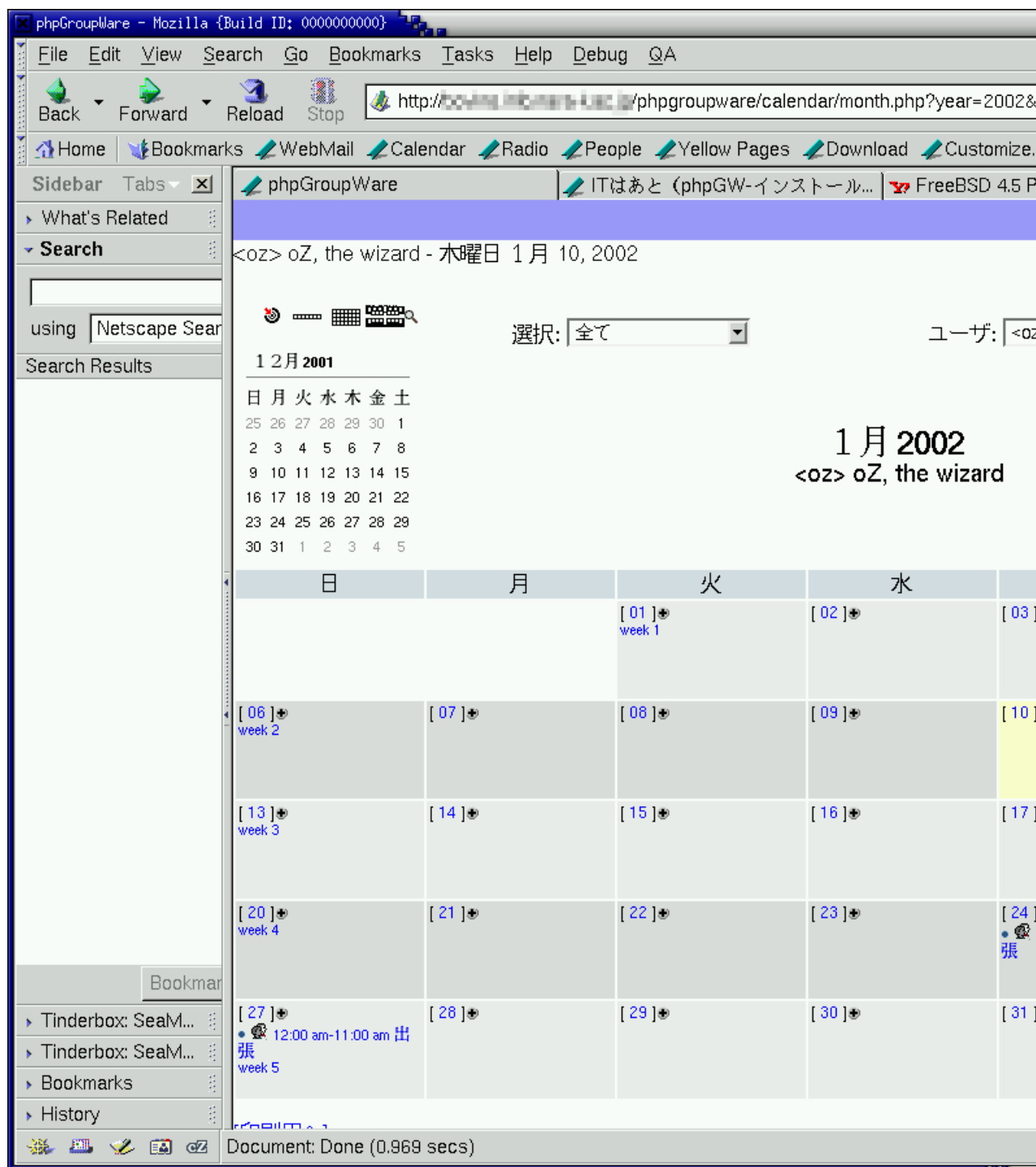
してください。これで、とりあえずエラー無しで動作可能です。

PHPGroupWare の動作の様子を図 1-5 にしめします。PHPGroupWare では、スケジュールの共有などが簡単にできるので、複数人のスケジュールを扱う必要がある場合には便利でしょう。

2. これは、データベースをローカルホストで動かす場合に必要です。RUN\_DEPEND していないので注意してください。



図 1-5. PHPGroupWare の動作の様子



## おわりに

たとえば、スケジュール管理を行っても同期や把握を忘れてはどうしようもありません。使うのであれば、同じスケジューラを継続的に使うべきでしょう。

さらに、スケジュールを印刷した場合は、印刷物は信じないことが大切です。まめに出力するか、スケジューラだけを信じましょう<sup>3</sup>。

---

3. わたしは何度もはまったことがあります (;-;)